

(財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2012 年 9 月)

連邦ボランティア制度の導入から 1 年

2011 年 7 月から、フルタイムのボランティア活動を可能にする連邦ボランティア制度 (Bundesfreiwilligendienst) が発足した。この新しい制度の設立は、戦後のドイツで軍隊政策及び社会政策に関して行われた最も重要な改革の一つに起因している。この改革とは、徴兵制度及び良心的兵役拒否者が従事する兵役代替役務の制度の停止¹(同じく 2011 年 7 月) である。1956 年に徴兵制度が導入されたのに続き、1961 年に兵役代替役務の制度が導入され、病院、老人ホーム、障害者施設などで勤務する若い男性は、ドイツの福祉制度を担う重要な一部となっていた。制度が停止される前には、年間約 9 万人ぐらいの男性が兵役代替役務に従事していた。福祉施設以外にも、救急や民間人保護サービスなどにも及んだ。

徴兵制度の停止と同時に兵役代替役務も停止となり、代わりの制度の設置が緊急課題となっていた。連邦ボランティア制度は、このような要求に応えるほかに、社会的に重視されるようになった市民活動にも配慮し、創設されたものである。また、兵役代替役務以外にも、若い世代が主体となって社会的活動をするボランティア制度も既に長い伝統を持っている。学校卒業後に半年または 1 年間、社会福祉の分野で経験を積める社会活動ボランティア年 (FSJ) の他に、環境保護の分野で活動できる環境保護ボランティア年 (FÖJ) があり、主には大学、またはその他の教育課程に進む前の女性に人気である。この制度は 27 歳までの年齢制限があり、教育・研修の意味合いが強い。これらの制度は、連邦ボランティア制度と平行し続けている。

連邦ボランティア制度は、18 歳以上で義務教育を終了した人ならばだれでも参加ができ、週 20 時間以上奉仕することが基本となっている。ボランティア活動であるため、給料がないが、「小遣い」という名前の手当てがあり、組織によってその額は異なるが、月額 336

¹ 徴兵制は廃止とせず、緊迫及び防衛事態に際して復活できるように、憲法上の規定は残されている。

ユーロまでであり、場合によっては宿泊手当、食事手当でもある。ボランティア活動の期間中は、保険料や社会保険の負担は保証される。連邦政府はこの制度に予算をつけ、年間 3 万 5000 人の参加者を限定している。しかしながら、それだけでは約 9 万人いた兵役代替役務者を補うことができないので、社会福祉の施設では、他のボランティア制度の利用を高めるなど様々な方法で対策を採っている。

連邦ボランティア制度には地方自治体も参加し、自らポストを提供するほか、兵役代替役務を管理した連邦組織や青少年ボランティアサービスの組織と協力しながら、制度を運営している。こうした状況では、違うボランティア制度の伝統を統合することが課題であり、未解決の問題はまだある。

連邦ボランティア制度については、ハイデルベルク大学及びベルリンにあるヘルティエ・ガバナンス大学 (Hertie School of Governance) が共同調査を行っており、2012 年 7 月に中間報告を発表した。2012 年 6 月の時点では、連邦ボランティア制度に参加している住民は、すべての社会層出身で、男女はほぼ半々である。30%は 27 歳以上である。参加者の多くは、教育を終了した直後か、子育てに集中した期間の後に社会に出たい人、または失業中であるために新しいスキルを習得したい人など、動機が多様であるが、転換期にある点が共通している。年金生活者の割合は 2%で、比較的少ない。社会保障 (生活保護など) を受給しても、連邦ボランティア制度に参加することが可能であるため、「小遣い」で収入増加を目指す人もいる。

東ドイツの州と西ドイツの州では連邦ボランティア制度の実態がかなり異なる。東ドイツの州では、27 歳から 65 歳までのボランティアが全体の 4 分の 3 を占めるのに対して、西ドイツの州では、この年齢層のグループは 20%に過ぎない。理由としては、東ドイツの州は失業率が高く、ハローワークに相当する連邦雇用庁の失業相談所の職員が連邦ボランティア制度について積極的に案内しているほか、以前兵役代替役務の管理を行い、現在連邦ボランティア制度を管理する広域事務所が広報活動を行っていることがある。東ドイツの州では、正式に労働市場に参加できない人が、代替策として連邦ボランティア制度を選択しているようである。

制度の導入前には、男性の参加について不安が持たれていたにもかかわらず、連邦ボランティアとして活躍する人の 52%は男性であることが分かった。これまでの青少年を対象としたボランティア制度への女性の参加割合が高かった上、かつての兵役代替役務に従事した若い男性はボランティアではなかったため、男性の受け入れについては想像が難しかった。結果としては、東ドイツの州での積極的な周知活動による連邦ボランティア制度の受け入れ、そしてこの地域での男性の高い参加率によって、実際には全国的に見た場合の男女の参加率がほぼ均等になっている。また、東ドイツの州での早い受け入れが原因で、ドイツの 50 大都市のうちで連邦ボランティア制度への参加率のランキングでは、東ドイツの都市が上位を占めている。参加率が 10 万人当たり 112.2 人と、連邦ボランティアで最も高い第 1 位の都市はロストック市（人口 20 万 4000 人）であり、トップ 5 位には別の東ドイツの 3 つの都市が入っている。第 3 位には、西方面にあるビーレフェルト市（人口 32 万 3000 人）が入っている。最も低い比率、つまり 10 万人当たり 16.9 人という連邦ボランティア参加率は、経済的に繁栄している南ドイツのヴィースバーデン市（人口 27 万 9000 人）で、第 50 位となっている。この数字は、連邦ボランティア制度を総合管理している連邦家族・高齢者・女性・青少年省が 2012 年 3 月に発表したものである。しかし、この数字はこれらの都市で活動するボランティアの総数ではなく、新しい連邦ボランティア制度の元の新ボランティアであり、大学が行った調査で明らかになったように、東ドイツの州ではこの制度に対する周知活動などにより、新しいポストを創設する積極的な動きがあった。

大学の連邦ボランティア制度についての報告書では、制度の継続や成功を維持するためには、パート・タイムで、金銭的な報酬がないその他のボランティア活動との差別化と同時に、低給料の仕事からも区別する必要がある、そのためには、特に 27 歳以上のボランティアに対する教育・研修の要素を強めることが必要であるとしている。また、最も重要なのは、連邦ボランティア制度の参加者を評価し、表彰方法を定着させることである。現在では、この制度についての社会的認識度が低く、参加者自身も「連邦ボランティア」として活躍しているという意識はそれほど高くない。ただし、導入から約 1 年が経過し、参加者数が増加するにつれ、こうした意識が自然に高まることが期待される。兵役代替役務についても、社会的に認識され、従事した人が誇りを持って、それを自分の意識として持つようになるまでには、数年が必要であった。

参照

Website of the Federal Volunteer Service;

<http://www.bundesfreiwilligendienst.de/>

Tagesspiegel im Internet, 'Bilanz nach einem Jahr Bundesfreiwilligendienst' 29.6.2012;

<http://www.tagesspiegel.de/politik/jubilaem-bilanz-nach-einem-jahr-bundesfreiwilligendienst/6817646.html>

Naturschutzbund Deutschland im Themenportal.de, 'NABU zieht Bilanz nach einem Jahr Bundesfreiwilligendienst 16.6.2012;

<http://www.themenportal.de/umweltthemen/nabu-zieht-bilanz-nach-einem-jahr-bundesfreiwilligendienst-40459>

Men's Health im Internet, 'Bundesfreiwilligendienst: Osten beim Engagement vorn' 14.5.2012;

<http://www.menshealth.de/life/karriere-kollegen/osten-beim-sozialen-engagement-vorn.215858.htm>

Hertie School of Governance, Pressemitteilung 'Bundesfreiwilligendienst stösst über Alters- und soziale Grenzen hinweg auf breite Resonanz 12.6.2012,

<http://www.hertie-school.org/de/media-events/hertie-press-room/pressemitteilungen/press-releases-detail/article/bundesfreiwilligendienst-stoesst-ueber-alters-und-soziale-grenzen-hinweg-auf-breite-resonanz/>

Hertie School of Governance Report: 'Ein Jahr Bundesfreiwilligendienst. Erste Erkenntnisse einer begleitenden Untersuchung'

http://www.hertie-school.org/fileadmin/images/Downloads/bundesfreiwilligendienst/Report_Bundesfreiwilligendienst.pdf

渡辺富久子、国立国会図書館、海外立法情報課、「外国の立法」2011年7月

<http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/legis/pdf/02480107.pdf>